

第43回政府現地対策本部会議 第48回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年8月16日(火) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害の状況

(1) 被害の状況等

・人的被害

死者

88人(前回比1人減)、行方不明者0人(前回比1人減)

※ 8月8日から実施した捜索により、行方不明となっていた方を発見・特定したため、行方不明者は0人となった。

重軽傷者

熊本地震によるものが2,242人

6月19日からの大雨被害のうち熊本地震との関連が認められたものが2人

・住家被害

熊本地震によるものが全壊、半壊、一部破損等合計164,151棟

6月19日からの大雨被害のうち熊本地震との関連が認められたものが合計55棟

・避難の状況

県内11市町村、34カ所の避難所に1,335人避難(前回比1,509人減)

・避難指示等の発令状況

避難指示 2市町村、避難勧告 4市町村で発令中

・罹災証明書交付申請受付件数等

受付件数 37市町村 172,115件

二次調査依頼件数 30市町村 42,129件

交付件数 37市町村 169,979件 交付率 98.8%

2 県等の対応状況

(健康福祉部)

・仮設住宅への対応

応急仮設住宅については、4,049戸の建設に着手、3,111戸の工事が完了。

みなし仮設住宅の借上げは、県全体で7,793件申請。

(環境生活部)

・公費解体

解体工事着手は10市町村、計画通りに推移

### 3 地震等の状況（気象庁の発表）

#### （1）余震活動

余震活動は、1日当たり0～5回で少なくなりつつあるが、8月6日と8月7日に震度3（八代・坂本町と熊本西区・春日）、8月9日に震度4（嘉島町）等の余震が発生しており、引き続き注意を要する。

#### （2）今後の天気予報

8月17日～23日の天気予報については、前半は高気圧が張り出し概ね晴れるが、後半は湿った大気の影響で雲が広がり易く高温が続き、山沿いでは短時間に大雨が予想され、地震で地盤が緩んだ地域では注意が必要である。

#### （3）7～8月中の最高気温（会議資料参照）

熊本県内で35度以上の猛暑日は、7月が6日間、8月がこれまでに14日間記録されており、8月後半も1週間の猛暑日が予想されるため、屋外の作業等に当たっては水分補給と熱中症対策に努めてもらいたい。

### 4 補足説明

行方不明の方の車両については、明日（8月17日）午後1時からへりによる車体引き揚げを現地で行う予定としており、県警、消防、国交省等には引き続きご協力をお願いする。

### 5 政府現地対策本部長の発言

（内閣府 中村参事官）

熊本地震から4カ月経過し、行方不明の方の遺体も見つかった。今回の地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、あらためて被災された皆様にお見舞いを申し上げる。また、県庁をはじめとする関係機関・団体等の皆様方に対し感謝と敬意を表する。

前回の会議から2週間経ち、この間、防災担当大臣が河野大臣から松本大臣に交代となり、松本新大臣が視察のため明日来県予定である。

さらに、昨日は熊本県の激甚災害指定が閣議決定した。震災からの復興、被災者の方の生活再建は、これからの重要課題であり、今後とも国・県が連携、協力して一体となって取り組んでいかなければならない。

### 6 県災害対策本部長の発言

（坂本知事公室長）

熊本地震から4カ月が経ち、4月16日以来唯一行方不明となっていた行方不明の方のご家族のもとに帰られ、心からお悔やみ申し上げます。また、危険と隣り合わせの現場において、猛暑の中、懸命に活動された警察、消防、国交省等の関係各位のご尽力

に、感謝申し上げたい。

熊本県では、厳しい暑さが続く最中、住まい対策に全力で取り組んでおり、1万棟の仮設住宅、みなし住宅の入居が決定し、ピーク時には18万人を超えていた避難者数が1,335人となっている。

また、国から激甚災害にご指定いただき、感謝申し上げます。熊本地震後の余震と豪雨等の複合災害発生が懸念される中、各位にあっては、復旧・復興に向けて迅速かつ円滑に取り組んでいただきたい。

## 6 その他

次回の会議は、8月30日（火）16：30から開催予定。

（以 上）